

2006年度日本政府(文部科学省)奨学金留学生選考試験

学科試験 問題

(高等専門学校留学生)

日本語 (B)

**注意** 試験時間は60分。

答えは全て解答用紙に記入すること。

日本語 (B)

Nationality		No.		Marks
Name	(Please print full name, underlining family name)			

つぎ ぶん 下の文の \_\_\_\_\_ にはどんなことばを <sup>い</sup>入れたらいいですか。もっとも <sup>てきとう</sup> 適当なものを <sup>した</sup> 下の A ~ D から一つ選んで、<sup>かいとうようし</sup> 解答用紙に <sup>きごう</sup> 記号で <sup>か</sup> 書きなさい。

(例) わたしは毎朝パン \_\_\_\_\_ <sup>た</sup> 食べます。

A が B で C に D を

1 年を \_\_\_\_\_ と、人の名前を <sup>わす</sup> すぐに忘れてしまいます。

A いく B くる C とる D なる

2 道で \_\_\_\_\_ とき、<sup>あし</sup> 足にけがをしました。

A <sup>わた</sup> 渡った B <sup>ころ</sup> ころんだ C <sup>お</sup> 落ちた D <sup>ある</sup> 歩いた

3 <sup>しょくご</sup> 食後に、コーヒーでも \_\_\_\_\_ ましょうか。

A いれ B たき C めし D そそぎ

4 <sup>くだもの</sup> 果物は箱に \_\_\_\_\_、<sup>はこ</sup> 運ばれる。

A <sup>かぶ</sup> かぶせて B <sup>こん</sup> こんで C <sup>しめ</sup> しめて D <sup>つめ</sup> つめて

5 <sup>ことし</sup> 今年の夏休みに <sup>なつやす</sup> 海外旅行をする計画を \_\_\_\_\_ <sup>かいが</sup> いる。

A <sup>お</sup> 置いて B <sup>くだ</sup> 下して C <sup>すす</sup> 進んで D <sup>た</sup> 立てて

6 <sup>へや</sup> 部屋を出るとき、かぎを \_\_\_\_\_ <sup>わす</sup> のを忘れないでください。

A <sup>かけ</sup> かける B <sup>かけ</sup> かけるため C <sup>かか</sup> かかる D <sup>かか</sup> かかるよう

7 <sup>とも</sup> 友だちに <sup>やくそく</sup> 約束を \_\_\_\_\_ <sup>おこ</sup> ので、怒っています。

A <sup>こわ</sup> こわした B <sup>こわ</sup> こわされた C <sup>やぶ</sup> やぶった D <sup>やぶ</sup> やぶられた

- 8 無理むりを続けると、とんでもない結果けっかに\_\_\_\_\_かねない。  
A なら B なり C なる D なれ
- 9 学校がっこうが今日休みきょうやす\_\_\_\_\_を忘わすれていました。  
A だということ B でしょう  
C なこと D の
- 10 土曜日どようびのパーティーは、人ひとがおおぜいいて、\_\_\_\_\_でした。  
A うるさい B しずか C にぎやか D ゆたか
- 11 彼女かのじょは、明るい色あかいろの\_\_\_\_\_を着きて、面接めんせつに出でかけた。  
A シーツ B スーツ C ズボン D コード
- 12 大きな声おおこえで話はなすと、近所きんじょの人ひとの迷惑めいわく\_\_\_\_\_。  
A があります B 来きます C します D になります
- 13 去年きょねん、この学校がっこうで\_\_\_\_\_留りゅうがくせい学生べんきょうが勉強べんきょうしていました。  
A 多くおおの B 多おおくな C 多おおかった D 多おおい
- 14 先生せんせいは魚さかな料理りょうりを\_\_\_\_\_ました。  
A いただき B うかがい C 差さしああげ D 召めしああがり
- 15 赤ちゃんあかちゃんが気持きもちよさそうに\_\_\_\_\_寝ねている。  
A ざあざあ B じろじろ C すやすや D ぺらぺら
- 16 このカメラは、のどから\_\_\_\_\_ほほど欲ほしかった。  
A 手てがて出でる B 手てにい入いれる C 目めがめない D 目めがめままわる
- 17 ごはんを食たべるとき、わたしたちは\_\_\_\_\_おはしつかを使つかいます。  
A いったい B しばらく C たいてい D めったに
- 18 もう30分ぶんも待まっているが、\_\_\_\_\_バこスが来こない。  
A ようやく B なかなか C とうとう D ぜったい

19 土曜日どようびも営業えいぎょうしています。\_\_\_\_、土曜日どようびが祝しゅくじつ日のときやすは休みです。

- A すなわち B そのうえ C ただし D ところで

20 天気予報てんきよほう\_\_\_\_、今日きょうは寒さむくなりました。

- A のとおり B のために C によって D にしたがって

II 次の会話の\_\_\_\_にはどんなことばを入れたらいいですか。もっとも適当てきとうなものを下のA～Dから一つ選ひと えらんで、解答用紙かいとうようしに記号きごうで書かきなさい。

(例) 鈴木すずきさん：となりに\_\_\_\_いいですか。

田中たなかさん：ええ、どうぞ。

- A すわったら B すわっても C すわると D すわるほうが

1 渡辺わたなべさん：郵便局ゆうびんきょくはまだ開あいていますか。

田中たなかさん：郵便局ゆうびんきょくは5時じまでだから、まだ開あいている\_\_\_\_です。

- A ところ B はず C ほう D わけ

2 鈴木すずきさん：渡辺わたなべさんが先週せんしゅうのピアノコンクールで優勝ゆうしょうしたらしいですよ。

田中たなかさん：へえ、\_\_\_\_ですね。

- A さすが B どうせ C なんと D まさか

3 渡辺わたなべさん：あのレストラン、おしゃれね。入はいりましょうよ。

田中たなかさん：\_\_\_\_、高たかいんじゃないかなあ。

- A しかも B それなのに C でも D ところが

4 渡辺わたなべさん：きれいな建物たてものですね。ここで写真しゃしんをとりましょうか。

鈴木すずきさん：お寺てらの中なかでは写真しゃしんをとってはいけなかいかと書いてありましたよ。

渡辺わたなべさん：\_\_\_\_。それは残念ざんねんですね。

- A そうしましょう B そうでしょうか  
C そうですよ D そうですか

5 鈴木さん：今日は雨だけど、どこかへ出かけたいですね。

田中さん：そうですね、どこへ行きますでしょうか。

鈴木さん：新宿\_\_\_\_\_はどうですか。

田中さん：じゃ、新宿へ行きましょう。

A あたり      B ちかく      C へん      D まで

Ⅲ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

地球上には、暑くてかわいた砂漠地帯もあれば、逆に、冬には気温がマイナス数十度にまで下がり、雪と〔ア〕におおわれてしまうところもある。そのようなところにも、いろいろな動物たちが、それぞれの環境に適応しながら生きている。

動物の体の形と気候との間には、おもしろい〔イ〕がある。一般に、寒い地方に住んでいるもののほうが、暖かい地方に住んでいるものに比べて、体がまるっこく、耳とか手足とかの体から出ている部分が少ないという傾向が認められるのだ。

寒いところで体温を一定に保っていくためには、体内で生産した熱をできるだけ失わないようにしなければならない。同じ〔ウ〕の体であっても、体から出ている部分が少なく、体型が球に近いほど体の表面積は小さくなる。体の表面積が小さいということは、外気と接する面積が小さいということであり、それだけ外気にうばわれる熱が少なくなる。体がまるっこいのは、寒い地方で生きていくのに、たいへん都合がよいことなのである。

実際に、寒い地方に住むホッキョクギツネは、まるくて小さい耳をしている。耳とか手足などの部分は、血管が体の表面近くにあるので、そこから熱がうばわれやすい。①、耳が小さいことは、熱がうばわれて体温が下がるのを防ぐのに役立っている。

逆に、暑い砂漠に住む小さなイヌ科動物のフェネックは大きな耳を持っており、そこから体温を放散させて、体温が上がりすぎないようにするのに役立っている。

動物たちの体は、それぞれに、住んでいる場所の気候や風土に合うようにできているのである。それは、自然が長い〔エ〕をかけて作りあげてきた、〔オ〕の傑作であるといえるだろう。

問1 \_\_\_\_\_の部分<sup>ぶぶん</sup>(1)~(5)の漢字<sup>かんじ</sup>は、どう読み<sup>よ</sup>ますか。A~Dから正しい<sup>ただ</sup>もの<sup>ひと</sup>を一つ選<sup>えら</sup>んで、解答用紙<sup>かいとうようし</sup>に記号<sup>きごう</sup>で書き<sup>か</sup>なさい。

- |         |        |         |
|---------|--------|---------|
| (1) 形   | A ぎょう  | B かたち   |
|         | C けい   | D かた    |
| (2) 暖かい | A ぬかい  | B やわらかい |
|         | C みじかい | D あたたかい |
| (3) 熱   | A しつ   | B みつ    |
|         | C れつ   | D ねつ    |
| (4) 都合  | A とかい  | B つごう   |
|         | C とし   | D つがい   |
| (5) 自然  | A しぜん  | B じぜん   |
|         | C しねん  | D じねん   |

問2 〔ア〕~〔オ〕には、どんなことば<sup>い</sup>を入れたらいいですか。A~Dから正しい<sup>ただ</sup>もの<sup>ひと</sup>を一つ選<sup>えら</sup>んで、解答用紙<sup>かいとうようし</sup>に記号<sup>きごう</sup>で書き<sup>か</sup>なさい。

- |                           |                      |                      |                      |
|---------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 〔ア〕 A 冷                   | B 泳                  | C 永                  | D 氷                  |
| 〔イ〕 A 結果 <sup>けっか</sup>   | B 原因 <sup>げんいん</sup> | C 関係 <sup>かんけい</sup> | D 構造 <sup>こうぞう</sup> |
| 〔ウ〕 A 立方 <sup>りっぽう</sup>  | B 体積 <sup>たいせき</sup> | C 立体 <sup>りつたい</sup> | D 方角 <sup>ほうかく</sup> |
| 〔エ〕 A 年月 <sup>ねんげつ</sup>  | B 数年 <sup>すうねん</sup> | C 千年 <sup>せんねん</sup> | D 時代 <sup>じだい</sup>  |
| 〔オ〕 A 最長 <sup>さいちよう</sup> | B 最初 <sup>さいしよ</sup> | C 最新 <sup>さいしん</sup> | D 最高 <sup>さいこう</sup> |

問3 \_\_\_\_\_の部分<sup>ぶぶん</sup>①には、どんなことば<sup>い</sup>を入れたらいいですか。A~Dから正しい<sup>ただ</sup>もの<sup>ひと</sup>を一つ選<sup>えら</sup>んで、解答用紙<sup>かいとうようし</sup>に記号<sup>きごう</sup>で書き<sup>か</sup>なさい。

- ① A しかし B けれども C それから D だから

問4 本文の内容に合うものを一つ選び、その記号を解答用紙に書きなさい。

- A 暖かいところに住む動物は寒いところに住む動物ほど動かなくてもいい。
- B 寒いところに住んでいる動物には手足や耳の長いものが多い。
- C 動物は体型が球に近いほど寒さに強い。
- D 耳の小さな動物は耳の大きな動物より体温が下がりやすい。
- E ホッキョクギツネは体が小さく、寒さにとても弱い。

IV 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

円のまわりの長さは、半径が大きくなると、長くなりますが、長くなりかたにはちやんとした〔ア〕があります。どんな大きさの円でも、円のまわりの長さは、直径の3.14倍になっているのです。

「直径」というのは、半径を中心から反対側にのばして、円のまわりと〔イ〕ところまでの長さで、半径の2倍です。

ところで、円のまわりのことは、「円周」といいます。それで、3.14のことを「円周率」といいます。

ちょっと考えただけでは、この3.14という数が、それほどたいせつな数だとは思えません。しかし、円周率3.14の〔ウ〕は、とてもたいへんなことだったのです。

3.14というのは、①、およその数です。ほんとうは、このあとに、どこまでも、どこまでも数が続くのです。そして、今では、どこまで計算を続けても終わらないということが、分かっています。でも、むかしの人たちは、少しでも正確な数を知ろうとして、何桁も何桁も計算しました。

今から六千年ほど前のバビロニアでは、円周率は、3と〔エ〕いました。初めて3.14まで計算したのは、古代ギリシャのアルキメデスです。いまから、二千年ほど前のことでした。

四百年ほど前のドイツのルドルフという人などは、なんと一生かかって、小数点以下35桁まで計算したそうです。②、今ならコンピュータで、何百万桁でも計算できます。

では、そんなにたくさん計算するのは、何のためでしょう。正確さだけだったら、も

のすごく正確でなくとはいけない人工<sup>えいせい</sup>衛星のようなものでも、せいぜい<sup>しょうすうてんい</sup>小数点以下  
6～7桁<sup>けた</sup>でいいそうですから、何<sup>(5)</sup>十<sup>なんじゅう</sup>桁<sup>けた</sup>も〔オ〕のです。

でも、<sup>わ</sup>分からないことがあれば、どこまでも、<sup>いっしょう</sup>一生かけてでも、<sup>わ</sup>分かるまでやってみる、<sup>きも</sup>という気持ちも、<sup>なん</sup>何となく<sup>わ</sup>分かるような<sup>き</sup>気がしますね。

問1 \_\_\_\_\_の<sup>ぶぶん</sup>部分<sup>(1)</sup>～<sup>かんじ</sup>(5)の漢字は、<sup>よ</sup>どう読みますか。A～Dから<sup>ただ</sup>正しいものを一つ  
<sup>えら</sup>選んで、<sup>かいとうようし</sup>解答用紙に<sup>きごう</sup>記号で<sup>か</sup>書きなさい。

- |        |         |         |
|--------|---------|---------|
| (1) 中心 | A ちょうしん | B じょうしん |
|        | C ちゅうしん | D じゅうしん |
| (2) 反対 | A はんたい  | B ほんたい  |
|        | C たんつい  | D ほんてい  |
| (3) 計算 | A けいさん  | B げいさん  |
|        | C けいざん  | D げいざん  |
| (4) 正確 | A しょうめん | B せいかく  |
|        | C せいぎ   | D しょうじき |
| (5) 人工 | A じんこ   | B じんこう  |
|        | C にんこ   | D にんこう  |

問2 〔ア〕～〔オ〕には、<sup>い</sup>どんなことばを<sup>ただ</sup>入れたらいいですか。A～Dから<sup>ただ</sup>正しい  
ものを一つ<sup>えら</sup>選んで、<sup>かいとうようし</sup>解答用紙に<sup>きごう</sup>記号で<sup>か</sup>書きなさい。

- |                           |                        |                      |                        |
|---------------------------|------------------------|----------------------|------------------------|
| 〔ア〕 A <sup>ほうりつ</sup> 法律  | B <sup>やくそく</sup> 約束   | C <sup>きそく</sup> 規則  | D <sup>よてい</sup> 予定    |
| 〔イ〕 A <sup>まがる</sup> まがる  | B <sup>こえる</sup> こえる   | C <sup>とお</sup> 通る   | D <sup>ぶつかる</sup> ぶつかる |
| 〔ウ〕 A <sup>はっけん</sup> 発見  | B <sup>はっぴょう</sup> 発表  | C <sup>はつめい</sup> 発明 | D <sup>はつたつ</sup> 発達   |
| 〔エ〕 A <sup>かんが</sup> 考えさせ | B <sup>かんが</sup> 考えられて | C <sup>し</sup> 知らせて  | D <sup>し</sup> 知ろうと    |
| 〔オ〕 A <sup>いら</sup> いない   | B <sup>よく</sup> よくない   | C <sup>いけ</sup> いけない | D <sup>なら</sup> ならない   |

問3 \_\_\_\_\_の<sup>ぶぶん</sup>部分<sup>①</sup>と<sup>②</sup>には、<sup>い</sup>どんなことばを<sup>ただ</sup>入れたらいいですか。A～Dから<sup>ただ</sup>正  
しいものを一つ<sup>えら</sup>選んで、<sup>かいとうようし</sup>解答用紙に<sup>きごう</sup>記号で<sup>か</sup>書きなさい。

- |                          |                      |                       |                       |
|--------------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------|
| ① A <sup>じつ</sup> 実は     | B <sup>いっ</sup> いったい | C <sup>とく</sup> 特に    | D <sup>べつ</sup> 別に    |
| ② A <sup>えんりょ</sup> 遠慮なく | B <sup>どうぞ</sup> どうぞ | C <sup>よろ</sup> よろこんで | D <sup>もちろ</sup> もちろん |

問4 本文の内容に合うものを一つ選び、その記号を解答用紙に書きなさい。

A 円周は半径のおよそ3.14倍である。

B 人工衛星を打ち上げるためには小数点以下35桁ぐらいまで計算しなければならない。

C コンピュータができるまで円周率は終わりまで計算することができなかった。

D 二千年ほど前、円周率は初めて3.14まで計算された。

E ドイツのルドルフという人はコンピュータを使って円周率を何百万桁も計算した。